

# 醸造を知る

## 半田運河と蔵のある風景 F-7

温暖な気候、良質な地下水に恵まれた半田では、古くから酢や酒などの醸造業が盛んであり、半田運河から廻船で江戸などに運ばれていました。ミツカン創業者初代中野(中埜)又左衛門は、高価な米酢の代わりに粕酢を発明し、江戸で人気の「早ずし」(握りずし)向けに売り込んだところ、「風味や旨みがずし飯に合う」と評判になり、握りずしが大流行するきっかけとなりました。半田運河と醸造蔵の情景は、江戸で絶賛された「尾州半田の酢」を送り出した往時の面影を今に伝えています。平成29年度都市景観大賞の都市景観部門で大賞受賞。(半田市中村町周辺)

## 映画「姿三四郎」のロケ地にもなった半田運河

富田常雄の同名小説を映画化、昭和18年3月25日に公開された黒澤明監督のデビュー作。ロケは昭和17年に行われ、修道館柔道の矢野正五郎が悪漢を運河に投げ飛ばす場面や主人公三四郎が矢野と出会う場面などが、半田運河および周辺で3日間にわたって撮影されました。



## 半田運河の鯉のぼり F-7

端午の節句の時期(4月中旬～5月上旬)に、50匹以上の鯉のぼりが半田運河のほとりを優雅に泳ぎます。



## F-7 半田運河 Canal Night

夏の夜に2日間開催されるアートイベント。半田運河の水面に数千個のヒカリノ玉を浮かべ、ゆらゆらと幻想的な空間を演出します。

## まんさん 萬三の白モッコウバラ (市指定天然記念物)

国登録有形文化財の小栗家住宅の庭にある、日本最大といわれている樹齢150年以上の白モッコウバラ。毎年4月中旬から5月上旬に可憐な白い花が咲きます。



## しのめ 東雲の道 F-6

東雲橋付近から上流の阿久比川堤に連なる桜並木は、「東雲桜」と呼ばれ、明治時代から桜の名所となっています。



## MIZKAN MUSEUM F-7

ミツカンの酢づくりの歴史や、食文化の魅力に触れ、楽しみ学べる体験型博物館です。ミツカンミュージアムを見学するとお酢の製法や特徴が分かります。ショップでは、オリジナルグッズなどを販売しています。創業時の粕酢を再現したお酢「三ツ判®山吹®」もショップで販売しています。



TEL 0569-24-5111  
 半田市中村町2-6  
 9:30~17:00 (最終案内15:30)  
 毎週木曜日(木曜日が祝日の場合は開館、翌金曜日は休館)、年末年始



全館コース(約90分)  
 ガイド付(大地の蔵除く)  
 定員 30名  
 大人 300円  
 中高生 200円  
 小学生 100円  
 乳幼児 無料

事前予約制  
 インターネット  
 (http://www.mizkan.co.jp/mim/) または、お電話(0569-24-5111)にて事前のお申し込みをお願いします。

大地の蔵コース(約30分)  
 ガイドなし  
 定員 50名  
 大人 100円  
 小中高生 50円  
 乳幼児 無料

★各コース共ツアー開始時間は9:30から30分ごと 最終ご案内/15:30



## 國盛 酒の文化館 F-7

現役の酒蔵の一部を活用し、江戸時代から300有余年の歴史を誇る酒造りの道具・資料を展示。利き酒もできます。

TEL 0569-23-1499  
 半田市東本町2-24  
 10:00~16:00

毎週木曜日(木曜日が祝日の場合は開館、翌金曜日は休館)、年末年始、お盆  
 無料 ※事前予約制



## 半六庭園 F-7

江戸時代から海運業、醸造業で富を築いた富豪中埜半六家の邸宅の庭園。回遊式の日本庭園では、「潮入りの庭」として、かつては半田運河の潮の満ち引きにより水面が上下する池がありました。

TEL 0569-84-0689 (半田市観光課)  
 半田市中村町1-7

9:00~17:00  
 年末年始  
 無料



## なかの 旧中埜半六邸 F-7

明治22年(1889)建築とされる中埜半六家の旧邸宅。翌年当地で行われた陸軍連合大演習の際は、明治天皇の侍医の宿泊所にもなりました。現在は飲食店、貸部屋として利用されています。

TEL 0569-89-2925  
 半田市中村町1-7

10:00~17:00  
 毎週木曜日、年末年始